

**創業 88 年 エレベーター意匠専門メーカーの変化と挑戦****技術を伝承、ノウハウ本『プロブック』を使った人材育成****8 部署で作成 教育としてコンテスト実施も 定着率の高い 100 年企業へ**

エレベーター用表示器の製造・販売をおこなう株式会社島田電機製作所(本社：東京都八王子市、代表取締役社長：島田正孝)は、技術面での人材育成の一環として、各部署で業務内容をまとめた本『プロブック』を作成し、1月より運用を開始しています。

今年で創業88年目を迎える当社は、日本で唯一のエレベーターに特化したオーダーメイド意匠器具の専門メーカーです。開発・設計から製造・組立・検査まで一貫したワンストップのものづくりと長年の知見を強みとして、大手エレベーターメーカーの依頼を受けて、ホールランタンやエレベーターボタンなどの意匠器具を短期間で製造しています。

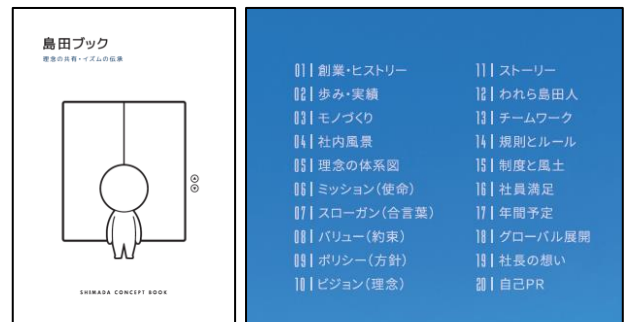
**■ブランドブックの次に着手したプロブック きっかけは、5代目社長の『第二創業期』にかける想い**

2013年に代表の島田が社長に就任し、本社の移転も重なり、「会社をどうしていきたいか」を深く考え始めました。企業改革や働き方の多様性により社員の入れ替わりや若返りが多くなり、実際に20、30代の若い世代が社内の半分を占めています。その結果、製品の不良が増えたり、社員の言動から会社への理解の浅さが目立つようになり、若い世代へモノづくりの技術やノウハウの伝承が必要と感じました。

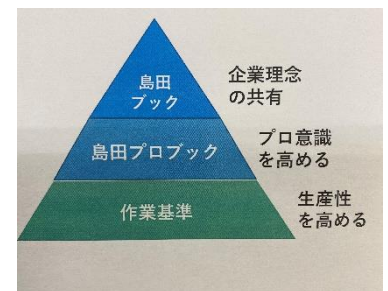
そこで、当社は社員が自社の仕事における理念やミッション、ビジョンなどを共有し、同じ価値観や判断基準を持って仕事をするための必要性を感じ、『島田ブック』と名付けたブランドブックを2018年に制作。『島田ブック』は、創業からの歩みやこれまでの実績、理念や使命、ルールや風土、チームワークの大切さや社長の想いなどを42ページに凝縮。

その後、社員一人ひとりがこのブランドブックを通して、自社のブランドに対する正しい理解を深めていけるよう、社員向けに『島田ブック』の勉強会を定期的で開催。現在、各社員にとって、迷ったときや悩んだ時に読み返す、“仕事のバイブル”となってきています。

今回、『島田ブック』の浸透から、次のステージとして技術面の人材育成につなぐ『プロブック』の作成に着手する運びとなりました。



『島田ブック』の表紙と目次

**■8 部署のプロブックを全社員が受講 5月に社員教育としてコンテスト実施も**

勉強会の様子

『プロブック』は、営業、設計、開発、板金、アクリル、組立、検査、総務の8つの部署ごとに作成。新しいメンバーが増えても業務に支障がでないように品質を保った業務が誰でもおこなえること、社員一人ひとりが『プロブック』を通じて気づきを得られることを目指しました。『プロブック』に記載する内容は、「業務内容」「設備や工具の説明」「作業工程」「求める人物像」など各部署ごとに現場の社員が考えてまとめていきました。

完成した『プロブック』は全社員に業務内容の理解を深めてもらうために、現在、他部署への勉強会を開催しています。部署のグループ長が講師となり、『プロブック』の内容を他部署の社員に伝えていきます。実際に勉強会の講師をしたグループ長からは「自分の部署内では言葉足らずで

も分かり合えることが多かったが、他部署に業務を伝えるのは大変難しかった」、勉強会に参加した社員からは「隣の部署での業務を細かく知らなかったのでモノづくりのノウハウが深まった」などの声があがっています。

5月に全社員でモノづくりに対する一体感を高めていく取り組みとして、どの部署の勉強会が一番印象に残ったかを社員ひとりひとりがアンケート投票します。基準としては「説明内容のわかりやすさ」「講師の説明の仕方」などを総合的に判断し一番良かった部署を決定していきます。

## ■ブランドの価値や仕事の楽しさを発見するきっかけに

当社は、『島田ブック』や『プロブック』を通して社員が“ここで働くことの意味”を改めて考え、当社のブランドの価値を認識し、新しいことや難しいことを自ら考えて作り上げていく“オーダーメイドのモノづくりの仕事の面白さ”を感じて働いてほしいと考えています。そして、経営者も社員も仕事にやりがいや誇りを持ってイキイキと働くことでブランドの価値が高まり、お客様からも社員からも愛されるブランドに成長していきたいと考えています。

### 【各部署について】

#### ① 営業



顧客の窓口担当として要求納期に間に合わせるように社内外を調整する役割。  
顧客との信頼関係を築くことが当社の営業活動です。

#### ② 設計



エレベーターメーカーが求められる製品を具現化するためにCADで設計し作図します。

顧客の要求に応える品質であることはもちろんのこと、製造が作り易い設計でなければなりません。

#### ③ 開発



新しい技術やアイデアを創意工夫し掛け合わせ、市場や顧客が求める価値ある製品を作り出しています。

#### ④ 製造 (板金)



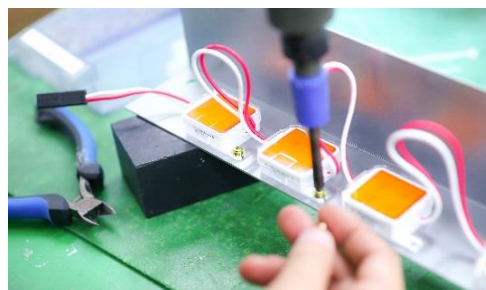
金属の板を切ったり曲げたり加工する工程です。  
形状を加工した後の表面処理は技術や経験が必要な特殊作業です。

#### ⑤ 製造(アクリル)



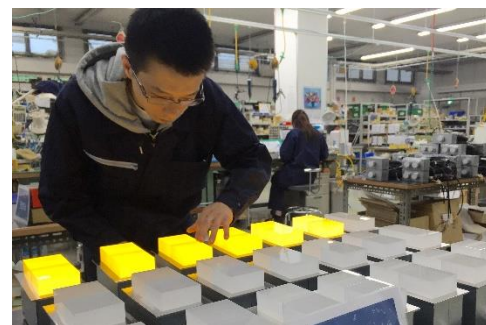
アクリル材を立体的に削り出し形状を加工したものを綺麗に仕上げる工程です。

#### ⑥ 組立



製作されたアクリルや板金などの部品、及び LED などの電機品を  
図面や仕様書に従い、顧客の要求する完成品として仕上げる工程です。

#### ⑦ 検査



点灯チェックをはじめ、光漏れ、ゴミやキズが無いかを確認。光り方の美しさや手触りなどの意匠性も検査しています。  
※最終検査員はエレベーターメーカーが認定する検査資格を保有。

#### ⑧ 総務



従業員エンゲージメントを高めながら組織のパフォーマンスを高めるために仕組み・仕掛けをつくり、働く環境を整えています。

## 【会社概要】

社名 : 株式会社島田電機製作所  
代表 : 島田 正孝  
本社 : 東京都八王子市大和田町 3-11-1  
ホームページ : <http://www.shimada.cc/>  
TEL : 042-656-1401  
設立 : 1949年2月24日 (創業 1933年)  
資本金 : 1,200万円  
従業員数 : 47名  
事業内容 : 各種エレベーター、  
エスカレーター用操作盤、  
表示器の製造及び販売



<本件に関する問い合わせ先>

島田電機製作所 広報事務局

TEL:03-5411-0066 FAX:03-3401-7788 E-mail: [pr@netamoto.co.jp](mailto:pr@netamoto.co.jp)

担当: 杉村 (携帯: 070-1389-0175)